

グローバル・ネットワークの構築を通じた、世界リーディング・ユニバーシティへの歩み 国際交流による世界最高水準の研究、教育拠点作りを目指して

国際コンソーシアム「AEARU(東アジア研究型大学協会)」第15回年次総会をホスト開催

2009年12月2日から4日までの日程で、東北大学がホスト大学となり、AEARU(東アジア研究型大学協会)第15回年次総会を開催した。AEARUは、東アジアの研究型大学が加盟する国際コンソーシアムであり、日本(本学・筑波大・東大・東工大・京大・阪大)、中国(清華大・北京大・復旦大・中国科技大学・南京大・香港科大)、韓国(科学技術院・ソウル大・浦項工大)、台湾(清華大・台湾大)から17大学が加盟し、ワークショップや学生交流プログラム等を推進している。

本総会では、松本京都大学総長が議長を務め、活動のレビューを行うとともに、今後の活動計画についての審議等が行われた。

総会に引き続き、加盟大学のプレゼンテーションが行わ

れ、井上東北大学総長のリードにより、学部教育や、大学のグローバル化のための英語による専門教育の充実などについて意見交換が行われた。

なお、本会合には、加盟大学の学長・副学長等の約50名が参加した。



文部科学省「グローバル30」拠点大学に採択

2009年7月、東北大学は、我が国の高等教育の国際競争力強化及び留学生に魅力的な教育環境を整備すること等を目的とした、文部科学省「国際化拠点整備事業(グローバル30)」を実施する拠点大学として採択された。

東北大学のグローバル30事業「Future Global Leadership」では、英語による講義や研究指導等を通じて学位が取得できる英語コースを始めとするプログラムを拡充等することにより、大学の国際化推進を目指している。これに対応するため、国際教育院及びグローバル30推進室を設置し、運営体制の基盤も構築した。

英語コースについては、既設3コースに加え、2013年まで



に学部・大学院併せて13コースを増設し、計16コースを整備する計画である。これらに加え、これまで主に理工系学生向けの短期受入英語プログラム(JYPE)を推進してきた実績を踏まえ、社会・人文系学生向けのプログラム(IPLA)を2010年秋から開始する計画である。また、我が国の大学のロシアにおける広報活動を支援する海外大学共同利用事務所をモスクワに設置する計画であり、その運営等組織として、ロシア交流推進室を設置した。

これらグローバル30事業の着実な推進を通じて、国際的に活躍する人物養成等に、今後も貢献して行くことが期待される。

「東北大学デイ」を開催 (上海交通大学・中国東北大学・バンドン工科大学)

本学の最新の研究成果・教育活動等についての理解増進を図り、このことを通じて多くの優れた留学生・研究者の受入れを促進し、もって、本学の国際化を一層推進することを目的として、2009年度新たに、「東北大学デイ」事業を実施した。

2009年度は、上海交通大学(12月18日;上海)、中国東北大学(3月13日;瀋陽)、バンドン工科大学(3月18日;バンドン)において実施した。

「東北大学デイ」は、本学・ホスト大学の学長等からの挨拶、東北大学の概況・研究成果等の紹介、各部局の教員による個別留学相談、ポスター・パネル展示等からなり、いずれの開催においても、多くの学生・研究者等の参加を得て盛況であった。



上海交通大学



バンドン工科大学



中国東北大学

国連大学グローバルセミナー 第8回東北セッション「貧困と格差 ～グローバルな視点から～」を開催



2009年11月21日から23日までの日程で、東北大学と国連大学の共催により、「国連大学グローバルセミナー第8回東北セッション『貧困と格差 ～グローバルな視点から～』」が開催された。

現代社会が直面している地球規模の問題と国際連合の取り組みについての意識を高めることを目的に、学生を中心とした次代を担う人材が、国内外の著名な学者や実務家等と、講演やグループ討論等を通じて交流し、地球規模であると同時に身近な問題についての理解を深める場として、企画された。

セミナーは2泊3日の合宿形式で実施され、全国から83名が参加し、講義・講演を踏まえたグループ討論、及びプレゼンテーション等が行なわれ、最終日には修了証が交付された。

スタディ・アブロード・プログラムを実施

2010年2月から3月にかけて、米国・カリフォルニア大学サンディエゴ校(UCSD)及びオーストラリア・シドニー大学におい



て、「東北大学スタディ・アブロード・プログラム(SAP)」を実施した。SAPは2008年に開始され、今回でシドニー大学では3回目の開催となったが、UCSDでは初めての開催となった。

学部学生を中心に、シドニー大学プログラムには28名、UCSDプログラムには16名が参加した。参加学生は、春休み期間を利用して、シドニー大学及びUCSDに約4週間滞在し、集中的な英語研修を受講するとともに、現地学生と共に専門講義の聴講等を行った。また、地方へのフィールドトリップやホームステイ等にも参加し、現地の文化や生活を体験するとともに、現地学生との交流により国際的な視野を育むことができた。

東北大学留学フェアを開催

2010年4月12日、国際交流センター主催により、「東北大学留学フェア」を開催した。

フェアは、東北大学学部生・大学院生を対象として、学生の海外留学や国際交流活動を促進する目的で実施された。

フェアにおいては、本学が行う海外留学プログラム、短期海外研修、語学学習支援等について説明を行った後、海外協定校の留学担当者による留学プログラムのプレゼンテーション、交換留学体験学生及び海外短期研修体験学生によ

る報告会を行った。また、今回は、海外協定校や国内留学関係機関から留学担当者を招き、ブース設置により留学に関心のある学生に対して個別留学相談を行う機会も設けた。



留学フェアの様子



シドニー大学プログラム参加の様子

大学間学術交流協定を新規に12件締結し、合わせて144機関に(2010.6.1現在)

Topics

国・地域名	学術交流協定締結校名	締結年月日	国・地域名	学術交流協定締結校名	締結年月日
ベトナム	ベトナム国立大学ハノイ校	2009. 7. 6	フランス	リヨン第2大学	2009.10.20
イギリス	シェフィールド大学	2009. 8.21	台湾	国立清華大学	2009.12. 2
イタリア	フィレンツェ大学	2009. 8.21	オーストリア	ウィーン大学	2010. 2.24
ドイツ	ベルリン工科大学	2009. 8.26	韓国	慶熙大学校	2010. 3. 5
フランス	エコール・ポリテクニーク	2009. 9. 9	フランス	コンピエヌ工科大学	2010. 3.15
中国	上海交通大学	2009.10.15	インドネシア	ボゴール農科大学	2010. 3.23

※2009年度版は2009.7.1現在、2008年度版は2008.8.1現在のデータを使用しています。